



かごしま

2014年(平成26年)

第561号

市民のひろば

2月号

編集と発行 鹿児島市広報課 ☎099-216-1133 FAX099-216-1134 ✉kouhou@city.kagoshima.lg.jp

◇点字版・音声(テープ・CD)版を希望する人は広報課へ ◇配布の問い合わせは南日本リビング新聞社239-8124へ

市役所への問い合わせは

鹿児島市総合案内コールセンター
サンサンコールかごしま



はははさんさんサンサンコール
TEL099-808-3333

はははさんさんサンサンコール
FAX099-808-2525

はははさんさんサンサンコール
✉info@33call.jp

年中無休
8時～21時

市ホームページ

鹿児島市 検索

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

広報紙「かごしま市民のひろば」
グラフ誌「市民フォト鹿児島」を読む

ご覧に
なれます

※上記のページからは電子ブック
でも広報紙をご覧になれます

■携帯サイト「鹿児島シティガイド」
右の二次元コードから
アクセスできます



- 【主な内容】
- 特集 **子育てをするなら…かごしま市!** ……⑧・⑨
- 市政総合 ……②～④
 - イベント・講座 ……⑤～⑦
 - 暮らしのガイド ……⑩・⑪
 - 健康・福祉 ……⑫・⑬
 - すこやか鹿児島っ子 ……⑭・⑮

人口(平成26年1月1日現在・推計)

※()は前月比

人口総数 607,634人 (△53)

世帯数 271,147世帯 (△89)



大正3(1914)年1月12日の大噴火から100年。今年も1月12日(日)に「桜島火山爆発総合防災訓練」を実施し、防災意識の向上を図りました(桜島溶岩グラウンド)。

備えを万全に～桜島大正噴火 100年

人・まち・みどり

みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま

今年3日は節分です。「福はく内、鬼はく外」と、家族みんなで、にぎやかに「豆まき」をされる方も多いことと存じます。この時期になると、子どもの頃、大声で「豆まき」をし、歳の数だけ豆を食べたことを懐かしく思います。

さて、節分は、季節を分けるという意味があり、もともと各季節の始まりの日である立春・立夏・立秋・立冬の前日を意味し、年に4回あったと言われています。昔から、季節の変わり目には邪気が生じると考えられ、それを追い払うため、さまざまな行事が行われていました。

慌ただしい日常生活であっても、節分をはじめ、雛祭りなど、季節ごとの伝統行事を行い、日本人として四季の中で生きていくことは大切だと実感し、これらを伝えていくことは大切だと思います。

ところで、暦の上では春に向かいますが、一年の中で寒さが最も厳しく、体調も崩しやすい時期です。春を元気に迎えるためにも、健康に十分気を付けてお過ごしください。

節分に思う
今月3日は節分です。「福はく内、鬼はく外」と、家族みんなで、にぎやかに「豆まき」をされる方も多いことと存じます。この時期になると、子どもの頃、大声で「豆まき」をし、歳の数だけ豆を食べたことを懐かしく思います。

今月3日は節分です。「福はく内、鬼はく外」と、家族みんなで、にぎやかに「豆まき」をされる方も多いことと存じます。この時期になると、子どもの頃、大声で「豆まき」をし、歳の数だけ豆を食べたことを懐かしく思います。

今月3日は節分です。「福はく内、鬼はく外」と、家族みんなで、にぎやかに「豆まき」をされる方も多いことと存じます。この時期になると、子どもの頃、大声で「豆まき」をし、歳の数だけ豆を食べたことを懐かしく思います。

今月3日は節分です。「福はく内、鬼はく外」と、家族みんなで、にぎやかに「豆まき」をされる方も多いことと存じます。この時期になると、子どもの頃、大声で「豆まき」をし、歳の数だけ豆を食べたことを懐かしく思います。

市民とともに



鹿児島市長
森博幸

桜島大正噴火100年

「……本島ノ爆発ハ、古来歴史ニ照ラシ後日亦免レザルハ必然ノコトナルベシ。(中略)異変ヲ認知スル時ハ、未然ニ避難ヲ用意……」
これは、東桜島小に建つ大正3年の桜島爆発記念碑の一文で、災害への備えの大切さなど、当時の教訓が刻まれています。

先月12日、桜島大正噴火から100年を迎え、記念式典と防災訓練が行われました。式典では、地元の小・中学生が「火山を知る」「噴火に備える」「教訓を伝える」ことを高らかに宣言し、その力強さに勇気をもらいました。私たちは、これからも先人たちの思いと教訓を継承しながら、桜島と共に生活していかなければなりません。



防災の誓い